

3P 科目の講義が始まりました！

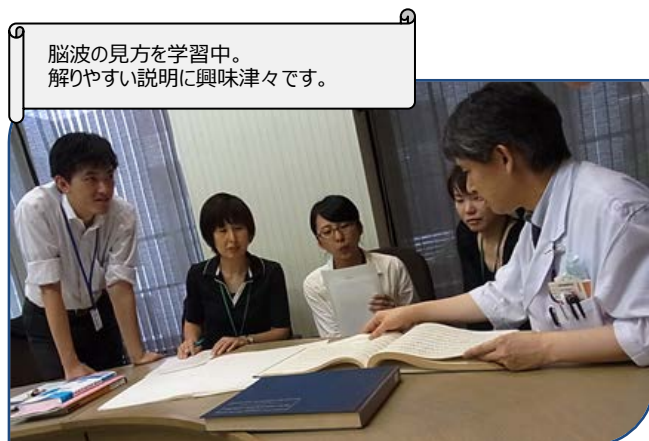
Topics

6月より高度実践看護学領域（感染管理看護学）で必須科目となっている生理学特論、薬理学特論、ヘルスアセスメント特論の講義が始まりました。これらは、3P 科目（Pharmacology, Pathophysiology, Physical assessment）と呼ばれ、高度実践看護では必須の知識・技術です。

～授業風景～

研究課程部の講義は講師が一方向的に講義するのではなく、研究課程部生が能動的に学習しています。

講師の先生方との活発なディスカッションや演習を通し、高度な看護を实践できる知識と技術を学んでいます。



生理学特論：高度実践看護を行うために、各種疾患の病態生理について学習します。対象の病態生理的变化を解釈し、症例アセスメントを行い正常と異常を判断するために必要な知識と技術を習得します。

薬理学特論：専門的な臨床薬理学を学習し、緊急応急処置、症状調整、疾患管理に必要な薬剤の使用の判断、患者モニタリング、患者の服薬管理能力の向上等に必要知識と技術を習得します。さらに重篤な副作用、アナフィラキシーショックの病態生理、症状、治療について学びます。

ヘルスアセスメント特論：複雑な健康問題をもった対象の身体状況を診査し、臨床判断を行うために必要な知識と技術を習得します。ヘルスアセスメント特論では、フィジカルアセスメントにより正常が判るだけでなく、異常が判るよう講義や演習を通して学習します。

<高度実践看護師（感染管理看護学）に関心がある方はお気軽に担当教員へお問い合わせください。>

教授：西岡みどり nishiokam@adm.ncn.ac.jp

准教授：森那美子 morin@adm.ncn.ac.jp

講師：網中真由美 aminakam@adm.ncn.ac.jp